

三浦市教育委員会にマスク5枚セットを1,100セット寄贈



6月28日(火)13時に三浦市役所にある三浦市教育委員会を訪れて、2022三浦半島統一メーデー期間に全駐労横須賀支部から頂いたマスク5枚セットになっているもの1,100セット、合計5,500枚を寄贈しました。

マスクにつきましては寄贈先を労福協事務局で相談した結果、三浦半島地域の障がい福祉施設・児童施設の他、新たに需要があることが分かった、三浦市の小中学校11校に配布することを決定しました。学校では児童・生徒が外あそびや体育等でマスクを落として汚してしまった時などに対応するため、一定数マスクをストックしておく必要

があるそうです。

そこで全駐労横須賀支部から頂いたマスクを1枚あたり、マスク5枚セットになっているもの100セットに仕分け、1校・500枚寄贈できるようにして、今回、三浦市教育委員会及川教育長に寄贈しました。

及川教育長からは、暑い夏が到来しており、熱中症対策等のためマスクを外す場面と、感染対策を講じる場面との切り替えを講じながら教育活動を行っている実態等を聞くことができました。